

最後に、新居浜太鼓祭りについての質問に移りますが、古川市長就任後、初めての太鼓祭りとなります。市民の皆様から、いろいろな声を預かっております。市長の太鼓祭りに対する熱い御答弁をよろしくお願い申し上げます。

今年もまた、待ちに待った新居浜太鼓祭りが間近に迫ってまいりました。しかし、今回はこれまで以上に、大変強い危機感を持って質問をさせていただきます。

先日のお阪・関西万博への太鼓台派遣事業では、日本国内はもとより、世界中の人々に、豪華けんらん、勇壮華麗な新居浜太鼓台を披露することができ、本市が誇る太鼓台の魅力を世界に十分発信することができたのではないかと喜んでおります。万博での宣伝効果は絶大と思われ、今年は例年以上に、数多くの観光客に来ていただけると期待しています。

しかしながら、大変心配な実情がございます。外国人はじめ、国内観光客の大半は、事前に目的地の情報をインターネット等で入手した上で、現地に向かわれます。以前の質問でも申し上げたとおり、多くの人々が利用するインターネット上の百科事典、ウィキペディアでは、現時点においても、新居浜太鼓祭りが、日本三大けんか祭りの一つとして、紹介されている状況です。さらにまた、インターネット上のSNSやYouTubeには、新居浜太鼓祭りは、まさにけんか祭りではないかと誤解されるような鉢合わせの動画があふれております。

そのような中、先々月、7月下旬には、市内に拠点を置く住友グループ4社から、新居浜市と警察署に対し、近年、参加者による暴力行為が多発していることから、工場前かきくらべの中止や、太鼓台のルート変更を求めるとの申入れがなされ、つい先日、8月末、今年の工場前かきくらべは中止になったとのマスコミ報道があったところでございます。間もなく新居浜市制90周年を迎えますが、これまで住友各社から、このような申入れがあったことは過去にないと思います。本気で祭りの在り方を、市にも考えてほしいとの思いも感じております。

今日、SNSの影響力は絶大です。今年の太鼓祭りが終了し、本市のおもてなしの姿勢、平和運行のいかなど、実際に本市に来ていただいた方々がSNS等でつぶやかれた率直な意見、感想が新居浜太鼓祭り、ひいては新居浜市全体のイメージとして定着すると言っても過言ではありません。

このような強い危機感を抱きながら、質問させていただきます。

まず、おもてなしの対応についてです。

大阪・関西万博での太鼓台披露は、いわゆる呼び水となり、今年は例年以上の多くの観光客が、本市を訪れることが確実視されております。それだけに、受け入れる側の積極的なおもてなしの姿勢が強く問われております。例年以上に見込まれる多くの観光客に対し、交通窓口となる新居浜駅等での御案内、イベント会場までのアクセス、送迎、また、駐車場、食事・宿泊先の積極的な情報提供等、これまで以上に、おもてなしの心に留意し、親切丁寧な取組体制の整備と、積極的な情報発信に努めるべきではないかと考えますが、市として、例年とは異なる今

年の取組等、御所見をお伺いします。

一方、当然のことながら、今年はこれまで以上に、平和運行に努めなければなりません。このたびの住友グループの切実な申入れに対し、申入れに至った近年の現状をどのように認識し、そして、市としてどのように対応されたのか。本市の移住や就職への影響については、どのようにお考えですか。それと、事実に基づかないSNSの発信者に対しての市の対応もお聞かせください。

平和運行については、市がもっと本気で積極的に関わるべきではないかという声を多く聞きます。さらに、これらの認識を踏まえた上で、平和運行の徹底に関し、祭りまでの間、また、お祭り当日において、新居浜市太鼓祭り推進委員会の中で、また、それぞれの運営委員会、運営協議会等、並びに警察署に対して具体的にどのような行動、働きかけをしていくつもりなのか、御所見をお伺いします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。藤田経済部長。

○経済部長（藤田清純）（登壇）
新居浜太鼓祭りについてお答えいたします。

まず、例年以上に見込まれる多くの観光客に対する取組についてでございます。

今年の秋祭りにつきましては、万博への太鼓台派遣もございましたことから、例年以上の観客を見込んでおります。例年と異なる取組といたしましては、山根グラウンドへのシャトルバスの増便や、新居浜工業高等専門学校が開発しております、太鼓台の位置情報アプリなどこの活用を考えており、市民や観光客の利便性を図る予定としております。

次に、住友グループからの申入れにつきましては、3年前の工場前での暴力行為が全国放送されたことや、インターネット上で拡散されている事態となっており、市のイメージ低下を招くとともに、その映像に住友の社名が映り込むことで、住友グループが会場を提供していると誤認され、苦情や対策を求める通報が住友グループにも多数寄せられたことなどを踏まえ、住友グループも、断腸の思いで要望書を出されたことと認識しております。要望書に対しましては、新居浜警察署とも情報共有を行いながら、川西地区太鼓台運営協議会にお伝えし、対応をお願いいたしました。最終的に川西地区太鼓台運営協議会において、工場前でのかきくらべを中止にするとの決定がございましたが、関係機関で協議の場を設け、来年に向け、引き続き対応策等について協議してまいりたいと考えております。

次に、本市の移住や就職への影響につきましては、平和運行が徹底されてこそ町のイメージアップとなり、移住や就職で選んでもらえる町になるものと考えております。

次に、SNS発信者に対しての市の対応につきましては、今後、過度にけんかをあおるような情報が拡散される事案がありましたら、情報の削除依頼など、祭りの主催者である各地区太鼓台運営委員会・協議会や、関係団体と連携して取組を行ってまいります。

次に、平和運行の徹底に関し、どのような行動、働きかけをしていくつもりなのかにつきましては、各地区太鼓台運営委員会・協議会に職員が出席し、平和運行の徹底を要請す

るとともに、新居浜警察署や関係機関と連携を密にし、情報共有をしながら、平和運行実現への方策について協議してまいります。

また、次回の太鼓祭り推進委員会総会において、各地区太鼓台運営委員会・協議会に対しまして、市長から平和運行の徹底について、要請を行いたいと考えております。

○議長（田窪秀道） 再質問はありますか。藤田誠一議員。

○15番（藤田誠一）（登壇） 最後のところが非常に興味あったんですが、市民の皆さんも興味を持ったと思うんですが、次回の太鼓祭り推進委員会総会の日付を教えてほしいのと、市長から平和運行の要請を行いたいということを考えているということの答弁を聞きました。

それを踏まえて、この問題は、市長が力を入れている営業本部と同様に、市長自らが先頭に立って取り組む姿勢を示すことが、僕は非常に大事だと思います。

そこで、市長に改めて伺いますが、新居浜警察署からは、署長名で住友企業等に対して、太鼓祭りにおける危険行為の禁止に関する要請がなされたとお聞きしています。市長から要請するとなれば、どのような要請をするつもりなのか。そして、警察と同様、市内事業所等へ要請などは考えているのか。

そしてやっぱり、新しい新居浜イコール古川市長というイメージが、私にはあります。ここで新しい新居浜太鼓祭りを加えてもらって、平和運行実現に向けて、市民の皆様、住友本社に意気込みを改めてお聞かせください。よろしくお願いします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。藤田経済部長。

○経済部長（藤田清純）（登壇） 藤田議員さんの再質問にお答えいたします。

次の太鼓祭り推進委員会総会がいつになるかということなんですが、まだはつきりは決まっていなくて、お祭り前には必ずする予定で、9月末か10月の頭ぐらいを現在想定して、調整中でございます。

その後、市長のほうからどのような内容の要請をするかということも、今現状、調整中ではございますが、今年度は特に、先ほどから言っているように万博で世界に発信をした、こういったお祭りでございますので、これから先、55年前に万博に行って、これまで引き継いできた新居浜太鼓祭りを、また55年後ぐらいに万博があったとしても、新居浜太鼓祭りが誇れる祭りとして、また出場の機会があれば出場できるような、そういうことができるようにつないでいくためにも、この万博を契機に変わっていけるものがないのかということ、市としても要請していきたいなというふうに考えております。

今、警察署のほうから各職場のほうに、そういった働きかけというか、要請を回っていることは私も聞いております。市のほうにも、来週あたりに来る予定にはなっています。

市長としては、市政だよりとか、LINEとか、そういったものを通じて、太鼓台関係者だけではなく、市民の皆様に、こういうことだということをお伝えできるようなツールを使ってやっていきたいなというふうに考えております。

○議長（田窪秀道） 再質問はありますか。藤田誠一議員。

○ 1 5 番（藤田誠一）（登壇） 最後に、大阪・関西万博で新居浜太鼓祭りに注目が集まる中、今年こそ平和運行を実現し、新居浜太鼓祭りの魅力が全国に P R ができ、そして、誰もが安心安全で楽しい太鼓祭りになるよう取り組んでいただくことを要望し、私の質問を終わります。ありがとうございました。